

第3回 さがの聴覚障害者映像祭

聴覚障害者による聴覚障害者のための映像祭典！

映画のふるさと、京都・嵯峨野へようこそ。
このイベントは、聴覚障害者が制作した映像を公募・紹介することで、
聴覚障害者の放送・映像活動を推進し、メディア社会への平等参加を図り、
情報バリアフリーをめざします。

プログラム

2007年 2月3日 (土)

第一部

13:00～16:00

▶12:30 受付開始

13:00 秘蔵映像公開『睦ニュース』
～昭和30年代の聾者用ニュース～

第二部

17:00～20:00

▶16:30 受付開始

17:00 秘蔵映像公開『睦ニュース』
～昭和30年代の聾者用ニュース～

秘蔵映像公開『睦ニュース』

～昭和30年代の聾者用ニュース～

昭和36年創立の睦聾映画演劇研究会は、8ミリフィルムによる映画制作を手がけ、『楽しい日曜日』をはじめ、6時間の長編『三浦清翁半生記』、未完成作品『たき火』の作品がある。また、当研究会の活動状況を知らせた機関紙版の他に、8ミリ版のニュースも30本以上制作していた。「睦聾映画演劇研究会」は、まさに情報メディア時代を先取りした活動をしていたのだ。当時の貴重なニュース映像を初公開します！

13:50 トロント国際ろう映画&芸術祭2006大賞受賞記念

「迂路」上映

15:00 監督 大館信広 脚本 二橋 誠

16:50 トロント国際ろう映画&芸術祭2006大賞受賞記念

「迂路」上映

19:00 監督 大館信広 脚本 二橋 誠

参加費 2日間有効1,500円 (1日間のみ1,000円)

会場 全国手話研修センター (コミュニティ嵯峨野)

〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

内容 聴覚障害者および聴覚障害者を含むグループが、監督、キャスター、カメラマン、出演者として自主制作、収録した映像の発表と紹介

主催 第3回さがの聴覚障害者映像祭実行委員会

主催 (共催) 特定非営利活動法人 CS障害者放送統一機構
社会福祉法人 全国手話研修センター

2月4日 (日)

10:00～17:00

▶9:30 受付開始

聴覚障害者が制作した 応募作品上映

10:00 開会

10:30 「ドッベルゲンカー」
(34分) 出品者：今井美香さん

11:10 「成」
(32分04秒) 出品者：東京都立立川ろう学校

～13:00まで昼食休憩
1階の京野菜レストラン「京野菜館」へどうぞ

13:00 「津久野だんじり祭り『中組100年間のラストラン』」
(19分07秒) 出品者：本田耕造

13:25 「ありがとう余部鉄橋」
(14分16秒) 出品者：水野秀章

～13:55まで休憩

13:55 「I Love You Dream」
(30分50秒) 出品者：関一哉

14:30 「カンボジアの風」
(13分16秒) 出品者：早瀬憲太郎

14:45 「クマ夫の悩み」
(12分40秒) 出品者：伊藤徹也

15:00 講評・閉会

審査員

50音順

浅井ひとみ

社団法人 京都聴覚障害者協会 会長

井上泰治

映画監督、主な作品に「水戸黄門」ほか

神谷雅子

「京都シネマ」代表

蔵本則彦

財団法人 全日本ろうあ連盟 理事

小山紳人

元NHK報道カメラマン

高田英一

第3回さがの聴覚障害者映像祭 実行委員長
社会福祉法人

全国手話研修センター 所長

特定非営利活動法人

CS障害者放送統一機構 理事長

上映① 学生部門 個人

「八日間の戦い～友情が友を救う～」(34分 2006年)

制作者 今井美香(群馬県)

◇作品の内容

ドッペルゲンカー……。それは自分と同じもう一人の自分が現れると何をもたらすのか、それを知った真沙美と亜紀は友を救おうと奮闘するそんなショートストーリー!

◇作品のテーマ

ドッペルゲンカー

◇監督プロフィールおよびコメント

中三から映像制作を始めました。昨年は「ありがとう」を出品しましたが今回はホラーショートストーリーの「ドッペルゲンカー」をテーマにして制作しました。今回の作品は私が高2の冬に制作したドラマです。私の夢は聴者でもろう者でも楽しめる映画を作って全国上映することです。なので、皆さんに楽しくごらん頂けたらいいなと思っています。

◆撮影機材：SONY

◆編集ソフト：ユーリード9 ◆音声あり

上映② 学生部門 団体

「戌」(32分04秒 2006年)

制作者 東京都立立川ろう学校、佐藤剛史(東京都)

◇作品の内容

助けてくれた美少女みゆきに心を奪われた野良犬ポチ……。謎めいた天使の魔法により人間に変身し、恩人のいる学校へ潜りこむ。みゆきに迫るピンチに必死の思いで駆けだすポチ!果たしてその結末やいかに!

◇作品のテーマ

恩人を慕う野良犬ポチのひたむきな愛の物語

◇監督プロフィールおよびコメント

東京唯一の総合学園、都立立川ろう学校 専攻科2年生。高3の文化祭に創った映画が1作目のスポーツドラマ『RUN』。2作目のサスペンスドラマに挑戦した『姉妹の絆』。2006年といえば成年。犬と人がふれあうヒューマンドラマの3作目『戌』を制作しました。

◆撮影機材：パナソニック miniDV

◆編集ソフト：ULEAD ビデオスタジオ ◆音声あり(ステレオ)

上映③ ドキュメンタリー部門 個人

「津久野だんじり祭り 『中組 100 年間のラストラン』」

制作者 本田耕造 (大阪府)

(19分 07秒 2006年)

◇作品の内容

堺市の津久野は伝統のあるだんじり祭りを毎年 10 月に行っている。8 組のだんじりが参加しているが、その内の 1 つに中組がある。100 年間曳き続けてきただんじりを手離すことになった。だんじりへの思いや郷土愛を描く。

◇作品のテーマ

だんじりを通じて深める郷土愛や地元の団結心を表現。

◇監督プロフィールおよびコメント

親が子を殺し、子が親を殺す世相の中にあって小さい子供から年寄りまでがだんじりを通じて 1 つになっている。若い人たちが年寄りを大切にしている郷土愛を描きたいと思った。

◆撮影機材：キャノン

◆編集ソフト：カノーブス ◆音声あり (ステレオ)

上映④ ドキュメンタリー部門 個人

「ありがとう 余部鉄橋」(14分 16秒 2007年)

制作者 水野秀章 (兵庫県)

◇作品の内容

昭和 61 年、鉄橋を通過中の列車が日本海からの突風にあおられ転落し、大事故になりました。安全性のため今年の春、コンクリート製の鉄橋に建替え工事が行われる。

◇作品のテーマ

ありがとう 余部鉄橋

◇監督プロフィールおよびコメント

歴史ある余部鉄橋の風景が変わる前に映像におさめたいと思いました。

◆撮影機材：SONY DCR-PC101NTSC 2003 年式

◆編集ソフト：カノーブス EDIUSPro3 2005 年式

◆音声あり (ノーマル)

上映⑤ フィクション部門 個人

「I Love You Dream」(33分50秒 2006年)

制作者 関一哉(群馬県)

◇監督プロフィールおよびコメント

3年連続でさがの映像祭に出品!スターウォーズ映画を参考にして現代を合わせて面白おかしく盛り上げた映画です。私が得意であるCG制作シーンが沢山披露されますので、よく御覧下さい!

◇作品のテーマ

聾者と聴者カップルが交流を深めていく恋愛ドラマ

◇作品の内容

アイラブユー ドリームといったタイトルの通りに恋愛コミカルドラマで結末はどうなるやら?ハラハラとしたドラマ。

◆撮影機材: SONY HVR-A1J CANON EOS Kiss デジタル

◆編集ソフト: アドビプレミアプロ 2.0、アフターエフェクツ 7.0、フォトショップ CS2

◆音声あり

上映⑥ フィクション部門 個人

「カンボジアの風」(13分16秒 2006年)

制作者 早瀬憲太郎(神奈川県)

◇作品の内容

プノンペン町の片隅に2つのグループが対立している。そこにもう1つの別のグループが乱入してくる。その事によって最初対立していたグループが団結するようになるというストーリー。

◇作品のテーマ

カンボジアのろう者による初のドラマ

◇監督プロフィールおよびコメント

今作品は、日本財団の事業として、カンボジアの青年支援事業の一環で「映像による表現」を指導した中で、カンボジアろう者自身が制作したドラマ。カンボジアには公立のろう学校がなく、ろう協会もない。ろう者の若者が集まって何かをするという経験がほとんどない。又、仕事をもないろう者が多い。そういった状況の中で、2007年12月1日にアジア各国で開催される障害者の日イベントで、カンボジアのろう者自身によるドラマを制作して発表する事になった。その最初の手伝いとして早瀬がカンボジアに行き制作について指導。最初の作品として出演、カメラマン、シナリオ全てカンボジアのろう(28人)で、制作したのが「カンボジアの風」。年代は、18才~30才くらい。手話は全てカンボジアの手話。(一部ASLに似ているところもある。)編集、字幕は早瀬。カンボジアのろう者のみなさんは現在、本格的な映画制作に取り組んで準備をしている。(12/1に上映発表)

◆撮影機材: SONY

◆編集ソフト: PC マック

◆音声あり

上映⑦ フィクション部門 個人

「クマ夫くんの悩み」(12分40秒 2007年)

制作者 伊藤徹也(大阪府)

◇作品の内容

そのお正月、クマ夫くんはやる気が出なくて、悩んでいました。やる気を出すために、何か目標を見つけようとするのですが・・・果たして、何か見つかるのでしょうか。

◇作品のテーマ

人の意志の弱さと考えることの矛盾、そしてその許容。

◇監督プロフィールおよびコメント

某ゲーム会社に3DのCGデザイナーとして勤務。趣味でいくつかCG作品、映像作品、イラストや短い小説など作っています。

※4コママンガ形式を映像に取り入れてみました。

※「夢がない」と言われて身内を殺したという事件を聞いてちょっとショックでした。夢がないとダメなら、僕はどうすればいいのでしょうか……。夢がなくてもいいじゃないか、難しく考えなくてもいいじゃないか、夢を持っている人だってそう簡単に前に進める訳じゃないし、そして適当に楽しんでいてもきっといつか何か見つかるさ、という願望を込めてこの作品を作りました。

※僕の場合、映画などで楽しそうに歌っている人を見ると、音楽が聞こえなくても、その楽しさが伝わってきます。しかし、普通の手話歌ではリズムも分かりにくいし、歌詞の内容が分かって、楽しさとかそういうのがなかなか伝わってこない気がします。そこで歌を歌うことの楽しさやリズムを、パペットと文字を使って表現できないかと思い、最後の歌を作りました。

◆撮影機材：パナソニック NV-GS400K

◆編集ソフト：Adobe AfterEffects ◆音声なし